

1学年宿泊研修で鈴木直道夕張市長がご講演をしてくださいました！ (4月14日(月) 於 夕張ひまわり)



鈴木直道市長 講演(要旨)

- ・2008年1月から2年2ヶ月、当時の猪瀬副知事の発案で都職員として夕張市の応援にきた。
- ・夕張は多くの他の市と共通項がある。①お金がない、②高齢化、③人口減など
40年後は日本全体が65才以上人口が40%になる。今の夕張は65才人口が46.5%で日本一高齢者の割合が高い。
- ・いろいろな課題があるが、決して他人事ではない。
- ・都から市長になって、年収が半分以下、退職金も0円。さらに4年に1度選挙があり、落選すると無職。
- ・29才の自分が、とある市民の方に市長に立候補して下さい、と言われて、自分なりに真剣に一人で考えた。
が、お断りする理由が見つからない。そこには「やりたいと思っている自分がいる」と気付いた。
- ・周囲の人はみんな、後悔するからやめた方がいいと言った。しかし、やりたい自分があるとすればやった方がいい、と思った。やらないで後悔するよりやって後悔した方がいいと思った。
- ・人は周りの人に支えられているというけど、一度きりの人生であり、結局は最後は自分で責任をとらなければならない。

- ・本当に自分で何かやりたいと思ったら、まわりを説得できる熱い思いを持ってほしい。
- ・学生時代には「最低の経験」と「最高の経験」の両方をしてほしいと思う。「最低の経験」とはもう二度としたくないと思うほどきつくてつらい経験、「最高の経験」とはもう一度してみたい、と思うような素晴らしい経験。
- ・物事を俯瞰的に見られる高校生になってほしい。
- ・タ張の再生が出来なければ、日本の再生もない。だからタ張の問題はタ張だけの問題ではなく、日本みんなで力を出し合って再生しなくてはならない。
- ・つらさをオンリーワンに変えなきゃ。
- ・物事を俯瞰的に大きな視点で見れる人になってほしい。そして協力をしてくれる人を増やす。
- ・フェイスブックや日本経済新聞のサイトに寄稿しているので、参考にしてほしい。

・「鈴木市長が幸せだと思うことは？」(生徒からの質問)

→・人生をかけてやりたいと思う仕事が出来るとの幸せ。やりたいことと仕事と一緒にあるということ。今やっていること全てが、得難い経験であり、自分自身を高めてくれる。

・さまざまなことは表裏一体の関係にある。高齢化にしても人口減にしても日本は「課題先進国」であり、世界に共通する課題がある。大きな視野で共通項を探すとお互いのことが見える。

・「タ張の魅力は？」(生徒からの質問)

→俳優の東出さんが言っていたが、「人間はお互いの無い物ねだり」と。つまり東京に無いもの全てがタ張の魅力。とりわけタ張には優しい人が多い。

・真っ正面から自分の人生と目の前の課題に向き合い、まっすぐに真剣に生きている鈴木市長の生き様に感動を覚えました。生徒も、全員が真剣にお話を聞いており、一人一人の生徒の心に、希望と勇気、やる気の種をまいていただいたように感じました。私自身もお話をお聞きした後、とっても清々しい、自分の心がきれいになったような感覚を覚えました。(N.K.)